



威風堂々発表する  
大塚徹さん



## 早期復興を祈願して

### 青年部

県内JA青年部員120名が参加して「令和元年度JA青年大会」が秋田市で開催され、当組合青年部からも6名が参加しました。

青年の主張発表には大塚徹さん（能代市浅内地区）が当青年部を代表してステージに登壇し、大塚さんは「台風によって甚大な被害に遭われた同志に対し、義援金など青年部員として援助をすべきであった。今後起こり得る天災に向け用意も必要だ。」と主張しました。

他青年部員が原稿を用いて発表する中、大塚さんは原稿を持たずに登壇し思いの丈を堂々と発言すると、聴者を圧倒する素晴らしい主張発表でした。

大会では、部員数減少の要因として農作業事故防止が不可欠であることを盛り込んだ大会宣言を採択しました。



優秀賞を受賞時の様子

## 不法投棄絶対ダメ!!

### 営農部

農家組合員から廃棄用プラスチック等を回収し、JAが代行処理申請を行う『農業用廃プラスチック収集』を管内3区域の各営農センター敷地内で行いました。

肥料袋や水稻の苗箱などを回収し総重量は約6.3トンに達しました。

この農業用廃プラスチック収集は、環境保全と不法投棄防止を目的に毎年定期的に年3回行っており、利用者からは「野焼きするわけにいかないし、定期的を実施してもらい本当に助かる。」と話してくれました。

今年度最後の農業用廃プラスチック収集は令和2年3月に実施を計画しており、後日全組合員に周知することとしています。



小雪が舞い散る中、持ち込まれた廃プラを軽量する職員



寒空の下、荷積みするJA職員と工藤京咲さん

## 安心安全な日本三大美味鶏を消費者へ!

比内地鶏部会・  
ニツ井営農センター

比内地鶏部会（原田政昭部会長）の各鶏舎にて、年末年始の特売需要を受けた比内地鶏の出荷が活気を帯びています。

作業は、生産者が鶏の行動が鈍くなる日入り前や日暮れ時に行われ、1ケースに6～7羽詰め込み、JA職員が各鶏舎を巡回し集荷作業を行います。

この日280羽を出荷した能代市ニツ井町の工藤京咲さん(70)は2,200羽の比内地鶏を飼育・生産しております。

工藤さんは「この時期は鳥インフルエンザへの感染が懸念されることから、特に鶏舎内の衛生管理には注力してきた。消費者の方々には安心して食べてもらいたい。」と話してくれました。